

《イネガリテ》 with 吉澤実

～トラヴェルソとリコーダーの饗宴～

F.クーブラン 諸国の人々より「フランス人」(抜粋)
L.A.ドルネル 三重奏
J-M.オトテール トリオによるソナタ 作品3-3 ロ短調
J.J.クヴァンツ トリオ・ソナタ ハ長調
J.S.バッハ トリオ・ソナタ 長調 BWV1039
G.Ph.テレマン ターフェルムジークより四重奏 二短調



トラヴェルソ・デュオ《イネガリテ》
相川郁子・野崎真弥



リコーダー
吉澤実



ヴィオラ・ダ・ガンバ
折原麻美



チェンバロ
及川れいね

2025年5月18日(日) 17:00開演(16:30開場)

大森福興教会

(JR大森駅西口徒歩5分)

チケット

メールでのお申し込み・お問い合わせ

minoinega@gmail.com

申し込みフォームQRコード



入場料金(全席自由)

一般

前売 4,000円

当日 5,000円

学生

前売 1,000円

当日 1,500円

リコーダーとトラヴェルソ、縦と横とはいえ古楽器の笛同士です。一緒に演奏しても良さそうなものですが、両者はキャラクターもそれぞれがもてはやされた国も違って、特に室内楽で共演することは決して多くありません。ところが、吉澤実と《イネガリテ》が会って、一緒にアンサンブルをしましょうということになりました。リコーダー+トラヴェルソ・デュオ、この組み合わせに合う曲が果たしてあるのかというと、実はあるのです。

イタリア人に好まれたリコーダーと、フランスで流行したトラヴェルソ、どちらの個性も活かしつつ、この2種類の笛を上手に組み合わせたカルテットを作ったのは、ドイツのテレマンでした。ターフェル・ムジークに収められた二短調のカルテットは、リコーダーとトラヴェルソ2本、そして通奏低音の四声によるアンサンブルです。室内楽の講習会などではよく取り上げられる人気作品である割に、コンサートでは聞ける機会が少ないのは、他に同様の編成の曲がないためでしょう。しかしこのカルテット、今回のコラボにはぴったりです！

やはり縦・横の共演になるためにあまり演奏されることがない、クヴァンツのトリオソナタ（リコーダー、トラヴェルソ、通奏低音）も演奏いたします。その他にも、この企画だからこそ演奏できる曲がいっぱいのスペシャル・コンサートです。どうぞお聞き逃しなく！



吉澤実 リコーダー

武蔵野音楽大学を卒業後、モーツァルトウム大学リコーダー科を卒業。リコーダーをF.ケルドルファ、フルートをH.ツァングレ、古楽演奏法をN.アーノクールに師事。オルフ研究所をDAAD奨学生として修了後、モーツァルトウム管弦楽団のフルート奏者を務める。C.オルフ、H.カラヤンの公演や録音に参加。NHK教育テレビ「ふえはうたう」「趣味悠々」講師。「題名のない音楽会」「ららら♪クラシック」等に出演。横浜国立大学、東京藝術大学で長年教鞭をとる。邦人現代リコーダー作品の委嘱初演をライフワークとしている。文科省、文化庁主催講座講師。JICA等でアジア各国の子どもの自立支援や音楽指導者を育成。CD、DVDほか著書は「アルトリコーダー教本」（全音）、共著は図鑑NEO「音楽」（小学館）、音楽教科書（教芸）など68冊。留島武彦文化賞、静岡県文化奨励賞を受賞。

トラヴェルソ・デュオ 《イネガリテ》

ブリュッセル王立音楽院古楽器科の同級生である、相川郁子と野崎真弥によるトラヴェルソ（バロックフルート）の“でこぼこ”デュオ。二人は同音楽院で2012年より頻りに共演してきたが、卒業・帰国などを経て2017年2月に正式にデュオを結成した。デュオ名の「Inégalité（イネガリテ）」はフランス語で「不均等、凹凸」を意味するが、フランスバロック音楽の演奏習慣の一つである「不均等奏法」を示す言葉でもある。近年は野崎がヴィエル（ハーディガーディ）に持ち替えての、トラヴェルソとヴィエルの二重奏もプログラムに取り入れている。



折原麻美 ヴィオラ・ダ・ガンバ

国立音楽大学音楽文化デザイン学科（音楽学）卒、同時に有馬賞受賞。在学中ヴィオラ・ダ・ガンバを始め、卒業後渡欧。ブリュッセル王立音楽院古楽器科にて学部、修士、研究科を優秀賞付きで修了。留学中、ベルギー国営ラジオ局RTBF主催ムジーク・トロワ祭、ユトレヒト国際古楽音楽祭等、ヨーロッパの主要な音楽祭に出演するほか、数々の招聘演奏を行う。2017年に帰国。ルネサンス〜バロック音楽を中心に、日本・世界各地の民謡、舞曲、童謡等、ジャンルを問わず楽器の魅力や音楽の楽しさを伝える。AYAMEアンサンブル・バロック、デュオ・ルーリーのメンバー。アイゼナハ音楽院講師。www.oriharaasami.com

及川れいね チェンバロ

フェリス学院大学音楽学部器楽学科卒業。桐朋学園大学古楽器科研究生修了。フランス、サンモール・デ・フォッセ音楽院を金メダルで修了後、パリ市立高等音楽院で学ぶ。チェンバロを渡邊順生、リチャード・シーゲル、ノエル・スピート、ピエール・アンタイの各氏に師事。ソロ、通奏低音奏者として多くの演奏家・団体と共演するほか、2台チェンバロ「デュオ・ミュゲ」、トリオ「アンサンブル・バロック・レジーナ」の活動も行っている。日本チェンバロ協会運営委員



大森福興教会

東京都大田区山王2-12-10

JR大森駅西口より徒歩5分

西口正面の八景祖神社前の階段を登り左へ。

(Google Mapの経路はつかえません。)



※未就学児同伴をご希望のお客さまはお問い合わせください。

Eメール minoinega@gmail.com